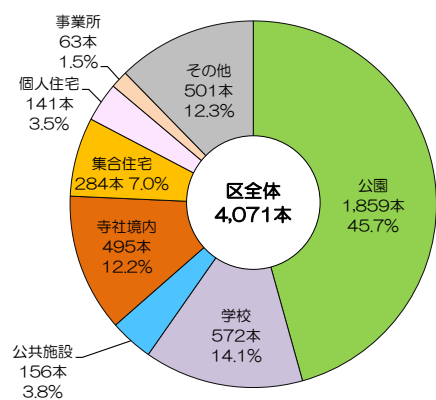


大径木

平成30年度 4,304本 減 令和5年度 4,071本

胸高（地上1.3mの高さ）の直径が50cm以上ある樹木、もしくは保護樹木の指定を受けている樹木を大径木として調査しました。

全体本数の減少は、病虫害対策や開発行為による伐採、消失のほか、植え替えなどが大きく影響しています。



土地利用区分別の本数と割合

壁面緑化

壁面緑化箇所 平成30年度 73箇所 増 令和5年度 75箇所

壁面緑化面積 平成30年度 4,909㎡ 減 令和5年度 4,547㎡

道路に面している、10㎡以上の面積がある壁面緑化を調査しました。

箇所数は2箇所増えましたが、面積は362㎡減少しました。

1箇所当たりの平均面積は、公共施設が最も大きくなっています。

土地利用	箇所数	面積（㎡）	平均面積（㎡）
公園	0	0.0	0.0
学校	6	338.0	56.3
公共施設	7	1,480.0	211.4
寺社境内	0	0.0	0.0
集合住宅	8	272.0	34.0
個人住宅	28	924.0	33.0
事業所	25	1,523.0	60.9
その他	1	10.0	10.0
区全体	75	4,547.0	60.6

土地利用区分別の箇所数と面積

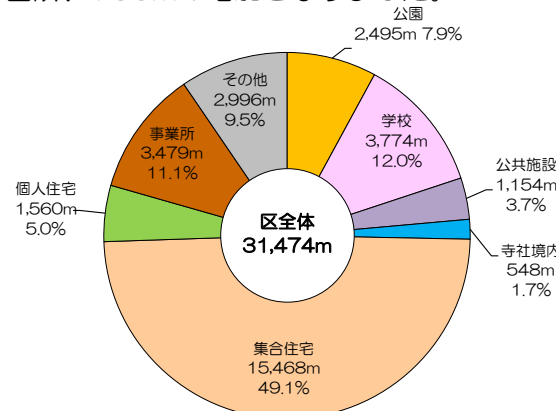
生け垣

生け垣箇所 平成30年度 427箇所 増 令和5年度 466箇所

生け垣長さ 平成30年度 30,739m 増 令和5年度 31,474m

長さ20m以上かつ高さ1m以上の条件を満たす生け垣を調査しました。

集合住宅や学校の建て替えなどにより、全体では39箇所、735mの増加となりました。



土地利用区分別の生け垣の長さ

植物種数

平成30年度 151科 1,034種 増 令和5年度 165科 1,132種

区内7地区の自然が豊かな場所各30haについて、生育している植物種を調査しました。

東京都区部では絶滅とされたアワボスゲや、区部では生育の確認記録がないトキワトラノオが確認されました。



アワボスゲ
（カヤツリグサ科）



トキワトラノオ
（チャセンシダ科）

新たに確認された種

令和5年度 北区緑の実態調査報告書 概要版

緑被率とみどり率

緑被率 平成30年度 18.43% 減 令和5年度 18.26%

緑被面積 平成30年度 379.51ha 減 令和5年度 376.24ha

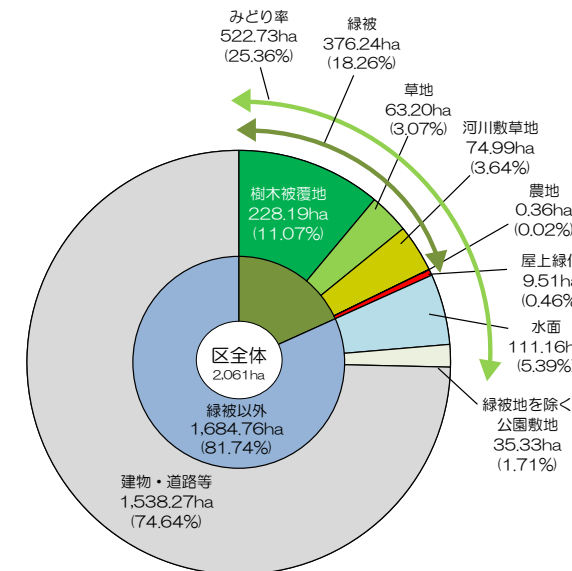
緑被率とは、樹木、草地、河川敷草地、農地、屋上緑化で被われた緑被地が区域面積に占める割合です。

みどり率は、緑被率に公園のみどりで覆われていない面積割合と河川などの水面が占める面積割合を加えたものです。

区内のみどりは、樹木被覆地（-4.33ha）や草地（-2.46ha）で減少し、河川敷草地（+3.53ha）で増加しています。

樹木被覆地の減少は主に集合住宅の建て替え、草地の減少は鉄道用地内の維持管理による影響と考えられます。

みどり率 平成30年度 25.54% 減 令和5年度 25.36%



緑被率とみどり率それぞれの内訳

樹林

樹林箇所 平成30年度 922箇所 増 令和5年度 958箇所

樹林面積 平成30年度 122.35ha 減 令和5年度 117.54ha

崖地樹林面積 平成30年度 41.67ha 増 令和5年度 42.22ha

300㎡以上の樹木被覆地を樹林として調査を行いました。一つにまとまった樹木被覆地を1箇所の樹林としています。

202箇所の樹林が消失しましたが、新たに238箇所確認されました。

箇所数は増加しましたが、面積が減少している主な理由は、集合住宅などの建て替えに伴う樹木の伐採が挙げられます。

樹林のうち、崖地上にある300㎡以上の樹木被覆地が崖地樹林です。崖地樹林面積の増加は樹木の生長によるものと考えられます。

屋上緑化

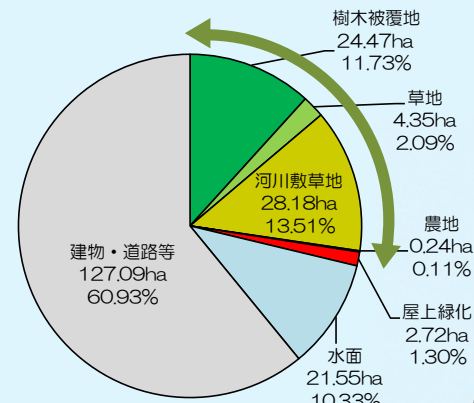
平成30年度 9.42ha 増 令和5年度 9.51ha

建築物の屋上やベランダに設置され、航空写真によって確認できる緑化物を屋上緑化として調査しました。

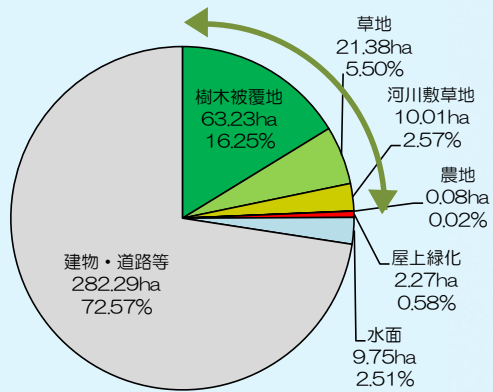
公園、学校、公共施設および事業所で増加していますが、個人住宅では減少が大きくなっています。

地区別の緑被状況

浮間地区
59.96ha
28.74%（1位）

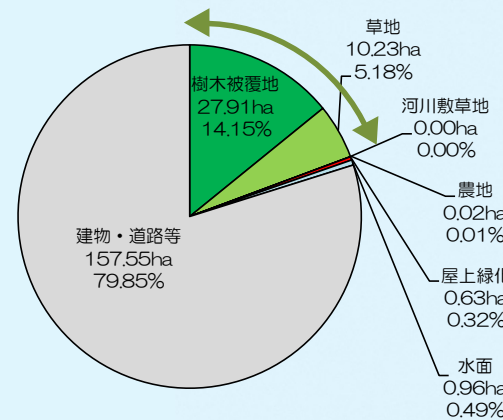


荒川河川敷、都立浮間公園、浮間北公園、浮間一丁目緑地および都営住宅周辺の街路樹等、緑地の多い地区です。



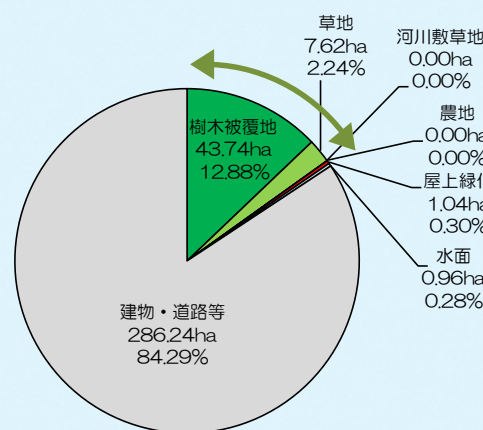
赤羽西地区
96.96ha
24.93%（2位）

赤羽自然観察公園、桐ヶ丘中央公園および赤羽スポーツの森公園等の比較的大きな公園、赤羽台の大規模住宅団地内の植栽、荒川河川敷等が主な緑地です。



王子西地区
38.79ha
19.66%（3位）

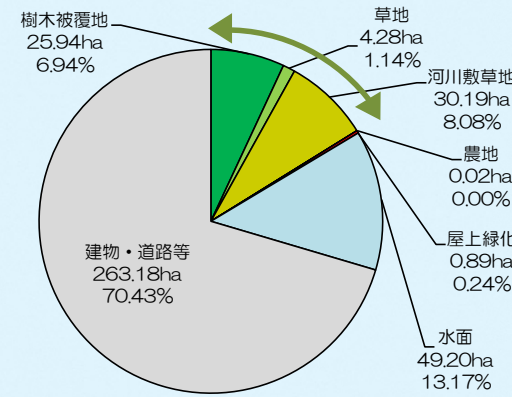
中央公園、名主の滝公園および王子神社には比較的大きな面積の樹林が存在し、また、十条駐屯地や各種学校には比較的大きな面積の芝生等があります。



滝野川西地区
52.40ha
15.43%（5位）

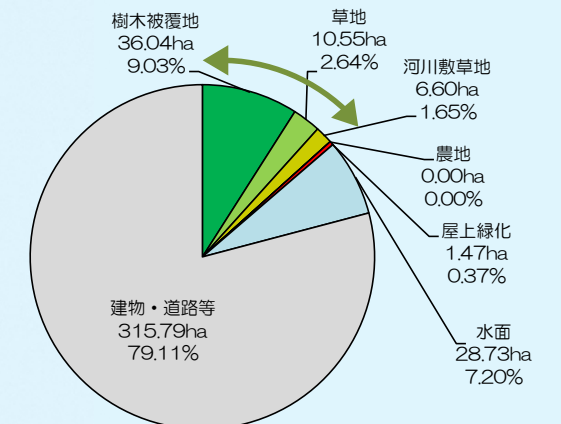
飛鳥山公園（東側）、滝野川公園および平塚神社等には崖地のまとまった樹林があります。

赤羽東地区
61.32ha
16.41%（4位）



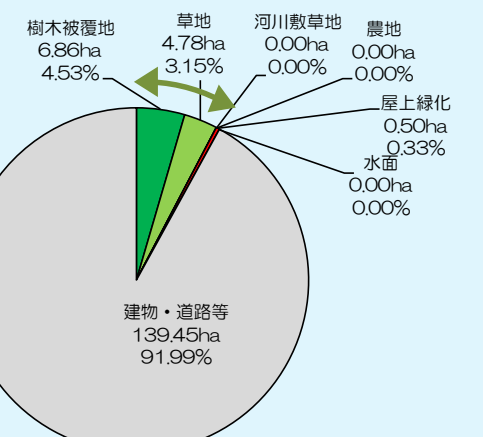
北部の荒川河川敷が緑地の大半を占め、南部では赤羽公園や北運動公園の緑が主な緑地です。

王子東地区
54.67ha
13.70%（6位）



荒川・隅田川河川敷、飛鳥山公園（西側）、東豊島公園、神谷堀公園、UR都市機構の住宅団地および各種学校等が主な緑地です。

滝野川東地区
12.15ha
8.01%（7位）



東田端公園や中里貝塚史跡広場の緑が主な緑地です。



北区の航空写真＜令和5年6月7日撮影＞

凡例

- 樹木被覆地
- 草地
- 河川敷草地
- 農地
- 屋上緑化
- 水面

※ □ は緑被面積、
%は緑被率を表す